

聯合軍最高司令部

一九四六年一月八日

第AG〇九一號 (一九四六年一月八日)

大日本帝國政府ニ対スル曉書

(東京總戰連絡中央事務局經由)

人口移動抑制ニ関スル件

一 戰時中安全地ニ疎開セル者、都市ハ復歸リ許容スルトキハ日本ニ於テ都市部(人口一〇萬以上ノ都市)ノ人口過剰ヨリ保健、經濟、安寧福利ニ関シ其意スベキ事態ヲ惹起スル虞アリ是等都市ニ於テハ未ダ職業、適当ナル食糧配給、住居、衛生施設、都市供給施設不充分ナルヲ以テ疎開者ノ大量輸入ヲ許容スル以前ニ於テ、急速ニ

匡正的豫防的施策、實施セラル、要アルモノト認ム日本ニ許容セラレタル最少限度、國民經濟、再建ニ必須ヲ認ムラン者其ノ協力ヲ要セラルル都市ニ復歸スルコトハ許容セラレベシ、

二 日本政府ハ一九四六年五月三十一日迄、内閣府ヨリ都市部(人口一〇萬以上ノ都市)ニ対シテ必要ナル人口移動ノ制限若クハ禁止ニ付所要ノ具體策ヲ含ム計畫案ヲ最高司令部ニ對シ可及的速ニ提出スベシ

三 不覺書受領證、提出先ハ聯合軍最高司令部トス

アレン大佐 (A.G.D.)  
高級副官付

聯合軍總司令部指令

昭和三十一年五月八日

AG第〇九一號

帝國政府宛 曉書

倫敦連絡中央事務局經由

裏面白紙

一 人口轉入統制ニ関スル件

一 一九四六年一月八日附A G 第九一號帝國政府宛覽書「人口轉入統制」ノ  
第一項及第二項参照スニト

二 帝國政府ノ政策的失敗ガ惹起シタ都心地ニ於ケル極度ノ住宅並ニ食糧ノ缺乏トニ鑑ミ帝國政府ハ一九四六年度文書綴込一月八日附A G 第九一號人口轉入統制第一項ニ述ベテアル指令ヲ充分ニ実施シ  
一九四六年九月三十日迄人口轉入ノ統制ヲ続行セラレタイ 以上

最高司令官代理參謀副官

陸軍代將 B・M フイツケ

參考資料

朕昭和二十一年勅令第五百四十二號「ホツダム」宣言ノ受諾ニ伴ヒ發スル命令ニ因スル件ニ基テ都會地轉入抑制緊急措置令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和二十一年三月八日

内閣總理大臣  
内務大臣

勅令第一二六號

都會地轉入抑制緊急措置令

第一條 都會地ニ於ケル人口ノ過度ノ集中ニ因ル弊害ヲ防止スル為必要ナル轉居ノ制限ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 昭和二十一年九月三十日迄ハ内務大臣ノ指定スル地域内ニ住居ス

- 轉ズルコトヲ得ズ、但シ左ノ各條ノ一ニ該當スル者ニシテ當該地域ニ住居ヲ轉ズルノ已ムヲ得ザル事由アルモノ轉居先ノ市町村(東京都ノ區ノ存スル區域ヲ含ム)ノ市町長(東京都ノ區ノ存スル區域ニ在リテハ區長)ノ承認ヲ受ケテシ場合ハ此ノ限りニ在ラズ
- 一 國民生活ノ再興ノ為當該地域内ニ於テ必須ノ業務ニ従事スル者及其ノ扶養スル家族
  - 二 當該地域内ニ在ル官公署ニ勤務シ官公吏及其ノ扶養スル家族
  - 三 當該地域内ニ在ル進学校ニシテ地方長官ノ指定スルモノノ學生、生徒、及児童並ニ教職員及其ノ扶養スル家族
  - 四 外國又ハ外地ヨリ帰還スル者
  - 五 其ノ他内務大臣ノ定ムル者
- 市長ハ前項ニ規定スル事務ニ該シテ長ニ委任スルコトヲ得

第三條 前條ノ承認ノ手續ニ関シ必要ナル事項ハ内務大臣之ヲ定ム  
第四條 第三條ノ規定ニ違反シ又ハ詐欺其他不正ノ手段ニ依リ同  
條ノ承認ヲ受ケタル者ハ三千日以下ノ罰金又ハ拘留ニ處ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

裏面白紙

裏面白紙

内務省告示第二六號

都會地帯ノ抑制緊急措置令第三條ノ規定ニ依

ル地域ノ指定ニ関スル件

都會地帯ノ抑制緊急措置令第三條ノ規定ニ依リテ

ノ通り地域ヲ指定ス

昭和二十一年三月八日

内務大臣 三土忠造

函館、東京都區、存心區、京都市、大阪市、堺市、  
布西市、横浜市、川崎市、横須賀市、神戸市、尾崎市、  
長崎市、佐世保市、名古屋市、豊橋市、靜岡市、岐阜  
市、仙台市、富山市、金島市、員市、下関市、和歌山市、  
福岡市、八幡市